

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)				区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
EU41C301		学校経営の理論と実践研究(Theory and practice of school management)				高度専門科目										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	教育学研究科	前期		氏名 清國祐二, 山本遼, 安田憲司 E-mail ryamamoto@oita-u.ac.jp 内線 7526										
授業の概要	学校経営に関する理論知と実践知を修得し、学校現場の事例を題材とした演習に取り組むことで、現状の課題を発見し、スクールリーダーとして具体的な対応策を立案する力を養う。とりわけ、分散型リーダーシップ、知識創造、ミドルアップダウンマネジメントといった組織開発型のアプローチにより、学校運営協議会やチーム学校などの教育改革動向の中で生起する学校経営上の諸課題に対処するための実践的な知見と力量の修得を図る。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	学校経営に関する理論知と実践知を習得する															
目標2	獲得した理論知・実践知に基づき学校の課題を発見する															
目標3	学校における諸課題を学校経営上の課題に関連付けて把握する															
目標4	学校における諸課題の具体的な対応策の構想し、検討する															
目標5	事例に基づき学校の状況に応じた経営のあり方について検討し、問題点を発見する															
目標6	発見した問題解決の具体的な対応策を立案する															
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1 「学校経営」、「学校組織マネジメント」とは何か																
2 学校経営の基本的構成要素(ミッション、ビジョン、コンプライアンス、資源、連携)																
3 学校経営における管理職の役割																
4 学校経営における管理職のリーダーシップ																
5 分散型リーダーシップとミドルアップダウンマネジメント																
6 トップマネジメントチームの理論と実践																
7 学校組織における協働性と同僚性																
8 効果的な学校評価(1) 自己評価のあり方																
9 効果的な学校評価(2) 学校関係者評価、第三者評価																
10 学校経営における連携・協働の意義と課題(チーム学校を念頭に)																
11 事例研究:メンターシステムを活用した授業力育成プラン																
12 事例研究:学校運営協議会の構築過程にみる連携と協働のマネジメント																
13 事例研究:学校経営から見た総合的な学習の時間のカリキュラムマネジメント																
14 事例研究:校内研修・校内研究を通じた人材育成																
15 まとめ:「学校経営とは何か」への探究の抱負																
ラーニング	A:知識の定着・確認	時間外学修(宿題), 調べ学修(文献, インターネット), プレゼンテーション, ディスカッション(ガイド付き・フリー), 事例研究, ロールプレイング(机上訓練), リフレクションノート				工夫	その他の									
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	授業資料の読解, 疑問点の集約, 該当会におけるプレゼンテーションの準備(20h)														
	事後学修	授業で学習したことを整理し, 獲得した知識等の定着を図るとともに獲得した知識等を用い, 課題解決の方策を考える(10h)														
教科書	教科書は指定しない。															
参考書	岡東壽隆『スクールリーダーとしての管理職』東洋館出版、1994年、ISBN9784491010748。 中原淳・金井壽宏『リフレクティブ・マネジャー - 一流はつねに内省する』光文社、2009年、ISBN9784334035280。 日本教育経営学会実践推進委員会編『校長の専門職基準』、花書院、2015年、ISBN9784865610352。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)	70%														
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%														
注意事項	本授業においては、擬似的に教員集団を組織するという側面もあるので、院生同士の双方向のコミュニケーションに努めること。とくに、各自のバックグラウンドの違いや経験値の差を積極的に利用し、自分自身のバイアスや固定観念を省察することに努めてほしい。															
備考																
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	清國祐二(高等学校)/安田憲司(中学校副校長、教育委員会事務局)
実務経験を いかした教 育内容	高等学校教員(清國),中学校副校長及び教育事務所長(安田)としての実務経験を活かし,学校経営に関する要点と課題に関する指導を行う。